



すぐ近くにも、あなたの家庭を必要としている子どもがいます

今、枚方市には0歳から18歳の子どもたちが、約64,000人います。

そしてその内、親が病気だったり、家の環境が安全でなかったりする等の理由によって、家から離れた地域の乳児院や児童養護施設で生活を送っている子どもたちが

枚方市では約**80**人います。

施設では、職員さんからたくさんの愛情を受けているけれど、

「家庭で過ごしたい!」と願っている子どもたちもたくさんいます。

自分にとって愛情を注いでくれる大人のいる家庭——。

「おひさま」では、そんな気持ちにも応えられるように、

子どもたちを受け入れてくださる

家庭の数も増やしたいと考えています。

一時期、親と離れることになっても、

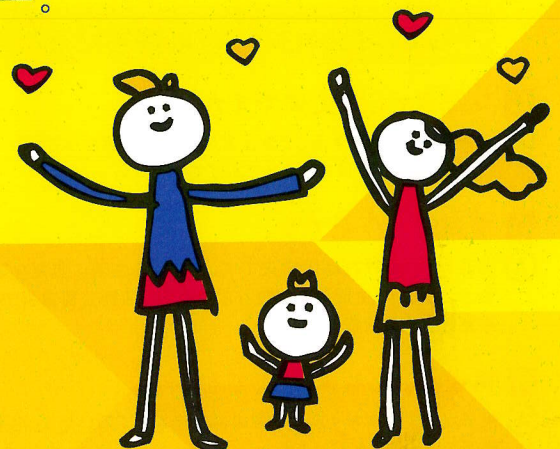
子どもたちが同じ地域や近所の家庭で暮らしたら、

転校もせずに、友だちと離れることもありません——

子どもにとっては少しでも同じ環境のまま暮らすことができます。

安心して子どもたちが成長できる環境を届けていきたい——

そんな私たちの思いに手を差し伸べてくださるご家庭を募集しています。



枚方市で
不足している
はぐくみホーム

乳児院や児童養護施設で暮らしている子どもの数
枚方市 約**80**人



子どもを受け入れてくださるご家庭
枚方市 約**7**家庭



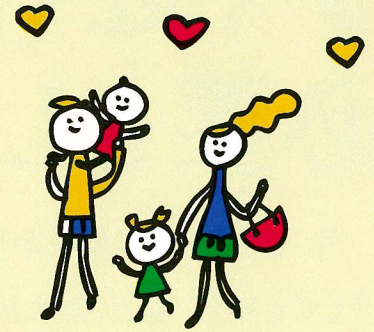
平成30年版(平成29年度事務実績)「大阪子ども家庭白書」のデータより

一定期間あなたのご家庭で育ててくださる
はぐくみホームに登録しませんか?

はぐくみホームって？



「はぐくみホーム」(養育里親)とは、様々な事情で家庭を離れて暮らさなければならない子どもたちを、一定期間、家庭の一員として迎え入れ、深い愛情を持って育ててくださる家庭のことをいいます。養子縁組のように、法的な親子関係はありません。子どもに必要な生活費など、経済的なサポートもあります。



こんな環境の子どもたちを受け入れてくださる家庭を募集しています。



「してみたいけど」の気持ちにこたえる Q & A

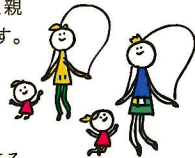
Q 共働きでも大丈夫ですか？

A 保育所などを利用することが出来ます。仕事が終わってからたくさん愛情をかけて関わってあげてください。



Q 経済的に心配です。

A 困窮していなければ大丈夫です。子どもの生活に必要な里親手当が出ます。生活費や学校などの費用は原則公費負担です。医療費も公費負担です。



Q 実子がいても大丈夫ですか？

A 実子がいても赤ちゃんや幼児のお世話をして頂いたり、出来る範囲でご活躍いただけます。



Q 子どもとお別れが辛いのですが・・・

A 別れが辛いという訳ではありません。一緒に過ごした時間は子どもにとっても大切な時間です。ひとりで抱えられない思いは、おひさまでも支援していきます。里親仲間と語り合ったり、研修を受けることで少しずつかもしれないですがセルフコントロールが出来るようになっていきます。

地域に根ざす「おひさま」が、地域と連携した子育てをサポートします。



おひさまの母体は、92年間、子どもの施設をはじめ、子育て支援をも数多く運営している社会福祉法人です。保育所、幼稚園、認定子ども園から乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設など、子ども&福祉のプロフェッショナルが数多く在籍し、子どもたちと日夜向き合っています。おひさまが支援する「はぐくみホーム」は、当法人ならではのネットワークやノウハウを生かし、しっかりサポートしていきます。

なんでも質問してくださいね！



里親支援機関

おひさま
PEACE AND HAPPINESS

お申し込み・お問い合わせ

社会福祉法人 大阪水上隣保館 里親支援機関 おひさま

TEL & FAX : 072-380-3455

<https://ohisama-satooya.jp>

〒573-0013 大阪府枚方市星丘1-20-8



[社会福祉法人 大阪水上隣保館]・遙学園(児童養護施設)・児童心理治療施設ひびき・大阪水上隣保館乳児院・山崎保育園・認定子ども園 藤の里保育園・山崎幼稚園(学校法人山崎学園)・子ども家庭支援センター「ファミリーポートひらかた」「ファミリーポートサブリ村野」・つどいの広場「ファミリーポートたかつき」「ばんだのいえ」・在宅養育支援センター みゆき園・弥栄の郷(特別養護老人ホーム・ホームヘルプサービス事業等)・大阪水上隣保館付属診療所 さくらクリニック・大阪保育福祉専門学校